

令和5年度 第1回大豆島公民館運営審議会会議録

- 1 日 時 令和5年6月1日(木) 午後1時30分から2時40分まで
- 2 場 所 大豆島公民館 視聴覚室
- 3 出席者 倉島 佐代子(大豆島公民館副館長)
中村 祥子(長野市スポーツ推進委員)
土屋 修一(大豆島地区民生委員児童委員協議会会長)
山口 眞(大豆島地区住民自治協議会会長)
丸山 忠良(学識経験者)
柳澤 安江(風間保育園園長)
山崎 ひろ子(大豆島地区赤十字奉仕団委員長)
高池 一昭(市立大豆島公民館館長)
中村 要(市立大豆島公民館係長)
(田原克彦委員、有澤美江子委員は欠席)

4 審議事項

- (1) 令和5年度大豆島公民館事業計画について
- (2) その他
- ・貸館システムについて

5 審議内容

長野市立公民館条例第15条の規定により、委員の過半数の出席を満たしており審議会は成立していることを報告して開会した。

(初めに今年度2名の方が交代されたので、委嘱書が高池館長より渡された。任期は後任なので1年である)

- (1) 令和5年度大豆島公民館事業計画について

事務局 (令和5年度大豆島公民館事業計画について事務局から説明)

丸山会長 成人式の名称(二十歳を祝う集い)になった経緯を今一度説明して欲しい。

山口委員 成人年齢が引き下げられたが、二十歳で祝賀行事を行う事になった経緯について教えて欲しい。

事務局 長野市では数年前に、成人式の開始年齢を『18歳』にするか、今まで通りの『20歳』からにするかについて、委員会を設けて検討を行った。その結果、18歳という年齢は、進学、就職活動で忙しい点、飲酒、喫煙が認められているのは従前どおりの20歳であること等から、20歳で開催していくとの統一し

た線が進められてきている。

『二十歳を祝う集い』という名称については、3月の公民館運営審議会でも皆さんにお伺いし、特に意見が出なかったので、本年度はこの名称を使用することに決めた。長野市は従前どおり『成人式』である。

館長会でも話題に出ており、各館において名称をどうするか思慮しているとのことだった。

インターネットでも色々調べたが、『二十歳の集い』や、『二十歳を祝う集い』が多い中、『二十祭』という変わったネーミングもあった。他県では18歳から成人式を行うところもあり、コロナ禍でできなかった分を含め、本年度4回行うところもあると聞く。

過渡期であるので、本年度は『二十歳を祝う集い』とした次第である。

(2) その他

事務局 貸館システムの導入計画について

国はデジタル庁を設置し、マイナンバーの普及と行政のDX化を計画し、長野市としても、公民館の貸館予約をスマートフォンやPCからできるように検討している。先行してスポーツ施設の予約を現在行っており、来年度から本格運用予定だ。スマートロックを利用し、使用料もキャッシュレス決済でできるよう家庭・地域学びの課と、行政DX推進課で検討している。

メリットとしては、貸館の管理、鍵の受け渡しが要らなくなる点。

デメリットとして高齢者など、ICTに不慣れな方は使いこなせない事が予想され、サークル活動自体を止めてしまう団体も出てくるのではないかとこの点。

結局、システムで予約できない方のために、今までどおり貸館業務を行わなければならないという点など係長以上で構成する公民館主事会でも意見が多数出た。

土屋委員 先行予約(3から5か月前)が危惧される。ある意味公平性を保つことが大事だと思う。

山口委員 民生児童委員総会や、各種住民自治協議会の行事も、そのシステムから予約しなければならないのか？

事務局 現在も住民自治協議会関連の行事については、1か月前ではなく貸館抽選前に入れることが可能である。おそらくそこは踏襲して、優先的に予約できるものと思われる。

山崎委員 『大豆島公民館を使用される皆さんへ』の通知資料に、土日祝日及び夜間の料理教室の利用が禁止とは書かれていないが、そのよう認識してよいのか？なぜお聞きしたかという、赤十字奉仕団で炊き出し訓練を行いたい。平日仕事されている方も多いので、どうしても土日に行わざるを得ないためである。

事務局 原則は館長が防火管理責任者なので、土日祝日及び夜間は使用できない。ただし、3月の公民館運営審議会でも話題に上り、炊き出し訓練は地域防災活動の一環ととらえることができるので、そういった事情であれば特例で貸し出すこともやぶさかではない。前向きに館内で検討する。